

中学生海外派遣報告～モンゴルに行ってきました！

中学生のサポート役として中学生海外派遣事業に随行した協会会員の小林久之さんからの報告です。



チンギス・ハーン像の前で

平成25年8月4日（日）から8月10日（土）の7日間、岩倉市からの委託事業である「中学生海外派遣事業」で派遣団14人とともにがモンゴルへ行きました。

ウランバートル市にある「新モンゴル高校」で学校交流が行われました。

同校の授業に参加し、一生懸命日本語を勉強する学生の姿を目の当たりにし、派遣団

の皆は「自分たちも負けていけない。」と、それぞれ思うところがあるようでした。

新モンゴル高校生徒宅のホームステイでは言葉の壁に苦労する団員もいましたが、皆ホストファミリーと仲良くなることができ、「伝えようとすれば言葉ができなくてもお互い理解しあえる。」と楽しげに話していました。2泊だけのホームステイでしたが、実りある交流だったことが皆の表情から伝わってきました。

ウランバートル市から車で1時間半のところにある景勝地であるテレルジのツーリストキャンプでは天候にも恵まれました。ここではたくさんの方に驚かされました。舗装されていない道で牛や馬があたりまえのように横切る光景は日本ではまず見られないでしょう。それに高さが40メートルにおよぶチンギス・ハーン像は真下から見ると何かわからなくなるほど巨大でした。宿泊するゲルでは草原独特の匂いに渋い顔をしたり、夜の冷え込みに震えたりする団員もしました。ただ、夜になると視界に収まりきれない満天の星空が広がり「すご～い！」と皆目を丸くしていました。

他にも皆で遊牧民を訪問し、モンゴルの伝統料理「ホルホグ」を手づかみで食べるなど、日本とは違う、日本では経験することも難しい自然と共に生きることも体験し、わずか1週間ではありましたが、派遣団14人は一回りも二回りもたくましくなって帰ってくることができました。



テレルジの空を覆い尽くすような星空

日本語ひろば 岩倉

協会事業のひとつである「日本語ひろば岩倉」は、市内外の外国人を対象に日本語を教える教室で、今年で始まって10年になります。この教室により日本語ができるようになり、日本での暮らしが楽しくなった外国人の方は多数いらっしゃることでしょう。そんな数々の実績を収めてきた「日本語ひろば岩倉」ですが、これまでいろいろ大変なこともあったと聞いています。そこで、10周年を記念して、COM編集者伊藤が「日本語ひろば岩倉」開始当初から携わっている協会理事の桜井さんに突撃インタビューをしてきました。

COM編集者伊藤（以下「伊藤」）「こんにちは。今日はよろしく
お願いします。」

桜井さん（以下「桜井」）「はい、よろしくお願いします。」

伊藤「まずは10周年、おめでとうございます。この日本語ひろば
岩倉ですが、ご存じでない方もいらっしゃるの、まずはこの
教室ができた経緯を教えてください。」



桜井「当時、日本語を勉強したいという外国人の声が協会に多く寄せられたため、ボランティアを募り、5回の公民館講座の後、教室を立ち上げることになったんです。」

伊藤「現在はどのように運営されているのですか？」

桜井「入会、退会、休会は自由。クラス分けやカリキュラムはなく、学習者の希望する内容（かな・漢字・日本語能力試験・会話など）を、1対1またはグループで勉強しています。現在のスタッフは、10年続いている人や入会したばかりの人を含む20代から70代までの男女合わせて15人です。日本語を教えるプロというわけではありません。『学習者のことを理解し、楽しく一緒に勉強しよう。』という気持ちを大事にしています。勉強のやり方もスタッフとしての条件も、ずっと変わっていません。」

伊藤「この10年の間に変わったことや印象に残っていることはありますか？」

桜井「変わったことは…」

- ・最初の頃、小・中学校へ日本語の勉強のお手伝いに行っていたこと。
- ・公民館（現 市民プラザ）で月2回の開催だったのが、生涯学習センターで月4回（原則）の開催になったこと。
- ・学習者の半数から3分の2がブラジルの人だったのが、ベトナム・ペルー・フィリピンなどの人になってきていること、などですね。

特に印象に残っていることは…



5年前、次から次へと学習者が増えた時期があり、最終的にはそれまでの2～3倍になったことです。多い時は一度に40～50人の学習者で部屋がいっぱい。新しい学習者が来るたびに何を勉強するかを決めて、まず机に向かってもらうまでが大変でしたね。でも、帰国や仕事のための転居などで少しずつ人が減っていき、1年もしないうちに元に戻って今は毎回10人くらいです。」

伊藤「大変なこともあったと思いますが、誰でも気軽に参加できて楽しそうな教室ですね。今度、僕も一度見に行きたいと思います。」

桜井「是非、どうぞ。関心のある方はどなたでも見学に来てくださいね。」

伊藤「ありがとうございました。日本語ひろば岩倉10周年を記念して交流会が開催されました。次ページがその報告です。」

～10年のあゆみ

10周年記念交流会

7月31日（水）、生涯学習センターの会議室3・4、スタジオ1を会場に、午後7時から開催しました。教室とは違う雰囲気の中で、いろいろな人とおしゃべりしながら、この10年間の歩みを共にした学習者、その家族のみなさん、そしてスタッフと楽しいひとときを過ごせたら、との思いで開催した交流会でした。

会議室3・4で開催した飲食コーナーでは、参加者が母国の郷土料理を持ち寄り、多種多様な料理やお菓子が振舞われました。普段食べる機会の少ない他国の料理には驚きとおいしさがいっぱい！特にベトナムのタピオカ粉で作った餃子は好評で、皆舌鼓を打っているようでした。また、それぞれが食事を通じて会話を弾ませ、楽しく文化交流ができました。



初めての味にビックリ！



学習者とその家族、スタッフなど総勢68名の大盛況でした。

折り紙、上手に折れるかな？



後半は会場をスタジオ1に移し、日本文化体験コーナーを開催。ここでは、坊主めくりや折り紙、紙風船などで遊んだり、本格的に茶筌（ちゃせん）を使って抹茶をたてたりしました。最初はやり方が分からなく、とまどう参加者もいましたが、やり方が分かると一変。皆が楽しく体験することができました。また、剣道演武の披露もされ、皆の視線が釘付け！初めて見る防具や竹刀にも興味津々でした。

めーん！！



日本語ひろば岩倉教室

日時：原則第1～4水曜日
午後7時30分から午後9時まで
場所：岩倉市生涯学習センター
第3・4会議室
連絡先：桜井
(090-8320-9591)

世界のお惣菜～ペルー編

7月13日（土）講師に、大岩アンヘリカ・マリアさんをお招きして、世界のお惣菜～ペルー編としてペルー料理を作りました。メニューは、アロス・コン・マリスコス（ペルー風パエリア）、カウサ・レジェーナ（ペルー風ポテトサラダ）、エモリエンテ（飲み物）。カウサ・レジェーナは見た目はケーキ！でも中身はピリッとした味のポテトサラダという遊び心のある楽しい料理でした。今回は日本語ひろば岩倉の学習者の皆さんにも参加していただき、大人23名、学生5名、幼児1名の29名が参加しました。



次回、世界のお惣菜～フィリピン編
 日 時：11月3日（日）午前10時から
 場 所：生涯学習センター料理室
 連絡先：出野（37-2495）
 多数のご参加をお待ちしています。



ふれ愛まつり、今年も参加します！

いわくら市民ふれ愛まつり2013に今年も出店します。世界のお茶、ジュース、お菓子の紹介と遊びのコーナーを予定しています。ふれ愛まつりにお出かけの際は、ぜひお立ち寄りください。

- ・世界のおかし
 - ・エモリエンテ（ペルーの飲み物）
 - ・タイの調味料、スパイス
 - ・タイカレーの試食
- } 等の販売

遊びのコーナーでは、以下の世界の遊びを紹介します。

- ・ジャガイ（モンゴル）
- ・チョンカ（マレーシア）
- ・コンノリ（韓国）

日時 11月9日（土）午前10時から午後4時まで
 11月10日（日）午前9時から午後3時30分まで
 場所 総合体育文化センター駐車場

会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。また新規会員も随時受け付けています。新規会員の申し込みは下記問合先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300
 口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子
会 費 家族会員3口（3千円）以上
問合先 内藤（0587-66-7347） 出野（0587-37-2495） 竹安（090-1230-2444）

会 報 COM第76号（2013年10月1日） 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）
 発 行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
 印 刷 大橋印刷所 http://www.iies.info/